

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



スギ花粉飛散とカメムシ発生の関係



- 本年も花粉症の時期が近づきました。県内のスギ花粉量はやや多いとの予報です。
- とところで、スギ花粉の飛散数と主要害虫のカメムシの発生とは関係があるようです。
- 和歌山県果樹試験場によると、スギ花粉は3月に飛散し5月以降、球果が成長します。チャバネアオカメムシの幼虫は7~10月に球果内に出来る種子を餌として食べて増殖します。

- その後、広葉樹林の落葉中で越冬し、翌年4月にそこを離れて果樹園で観察される成虫数が多くなると考えられます(図)。



チャバネアオカメムシ

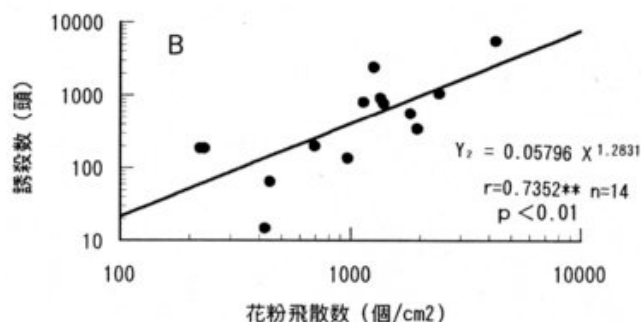


図 スギ花粉の年間飛散数とチャバネアオカメムシの誘殺数度



昆虫はどこで息をする？



- 昆虫も呼吸をします。しかし、人間のような哺乳類とは違って、肺を持っていません。口器は食べるためのもので、鼻もありません。
- そのかわりに、気門(きもん)という空気の取り入れ口が体全体にあります。幼虫の横側に縞の様に見える小さな孔です(図1)。成虫になっても足の付根の胴体部分にあり、ここから酸素を取り入れ、さらに体内の気管を通して全身に酸素を運んでいるのです。
- 休眠期のカイガラムシは殻の下で春をじっと待っています。
- マシン油を散布すると、カイガラムシは気門が塞がれ、窒息死するわけです。



図1.幼虫(ゴマダラノメイガ)の気門



図2. ウメシロカイガラムシ



安心のネットワーク

NOSAI 山梨

山梨県農業共済組合

■本所 甲府市宝 1-21-20

TEL: 055-228-4711

■中央支所

TEL: 0553-22-5056

■北部支所

TEL: 0551-23-1111

■南アルプス支所

TEL: 055-282-0443

■富士支所

TEL: 0554-45-6611